



チャレンジ！一歩前へ

郡山市立大槻小学校
学校だより No.65
令和4年 2月22日
文責：校長 酒井 健

◇これからの季節、不審者事案が多くなります。子どもたちの安全を守るために

まだまだ寒い日が続きそうですが、季節は春へと確実に近づいています。これからだんだんと暖かくなってくると、多く発生するのが不審者事案です。

先週は、近隣の学区で1件、そして18日(金)には、大槻小学区で1件の不審者事案が発生してしまいました。大槻小学区の不審者事案では、下校途中の児童が、自家用車の中から、声をかけられたという事案でした。この時の児童は、自宅まで走って逃げて無事でしたが、すばらしいことに、逃げる際、その自家用車のナンバーを見て、しっかりと覚えていました。現在、警察が大槻小学区のパトロールを強化しています。

不審者事案に対して、的確な対応を取ることができるよう、次のような点について学校では指導しています。ご家庭でも、子どもたちの安全・安心のため、言葉かけをお願いいたします。



「いかのおすし」の徹底

ここがポイント！

い		知らない人について「い」ない
の		知らない人の車に「の」らない
お		「助けて」と「お」おこえてさげな
す		こわいことがあったら「す」くにける
し		どんなことがあったのか保護者や先生に「し」らせる

①防犯ブザーは正常に作動しますか？

「大声をあげる」とありますが、不審者と突然遭遇してしまうと、声をあげることができなくなることも想定されます。そんな時、一番有効なのが「防犯ブザー」です。しかし、実際に使用しなければいけない時に、作動しなければ意味がありません。電池が十分か、故障していないか、ご自宅でも定期的に点検をしていただくようお願いいたします。

②もしも不審者に遭遇した、見かけたという時は？

このことが、全県においても課題となっています。見かけた・声をかけられた → 家に帰って夕食時に初めて保護者へ伝える → 翌日、保護者が学校や警察に連絡をする・・・では、遅いということです。

時間が経てば、当然、不審者は、もうその現場にはいません。子どもたちへは、すぐに、その場で、近くにいる大人に知らせ、通報してもらうように指導をしています。即対応が不審者根絶のカギだと思います。

③もしもの時を想定した準備をしておきましょう。

「助けて」の声が出ない、体が固まってしまう・・・もしも不審者と遭遇してしまった場合、人は、思うように動くことができないことがあります。だからこそ、常日頃の準備が必要です。声を出す練習をする、いざという時のイメージをしっかりとつなど、学校でも指導をしていきます。

防犯意識を高めていく

不審者は、言葉巧みに子どもたちに近づいてきます。例えば、次のようなケースがあります。

【ケース1】 「君の家の人が交通事故にあって、今、病院に運ばれた。家の人に、急いで君を病院に連れてくるように頼まれた。さあ、早く車に乗りなさい」

【ケース2】 「大槻小学校に行きたいのだけど、道が分からない。車に乗って案内してほしい」

どちらも、つい信用してしまいそうですね。しかし、絶対に車に乗ってはいけません。学校では、常日頃の生活の中で、子どもたちの防犯意識をしっかりと高めてまいります。

保護者の皆様、何かあったら「即 通報(110番)」「即 連絡(学校へ)」をお願いいたします。

